

情報発信ツールを活用するポイント

「誰にどうなってほしいのか」をイメージして投稿する

情報を発信する上では、何も考えずただ闇雲に行うよりも、投稿する内容や、誰に見てほしいのか等をよく考えて行うことが大切です。そのためには、「そもそも何のために活動しているのか」という「目的」と、その目的を達成するために何をどのくらいするべきかという「目標」を立てて行動の指針とすることが大切です。目的と目標がはっきりしてくれば、発信する相手に対して「誰にどうなってほしいのか」がイメージしやすくなり、どんな発信内容をしていけばいいかがわかりやすくなります。



思わず「シェアしたくなる」投稿を考える

「なぜ情報発信が必要なのか」でも説明したように、発信した情報を多くのユーザーにシェア（共有）してもらうことで、自分たちの想いや活動をより広く、より多くのユーザーに届けることができます。ユーザーにシェアしてもらうには、「これは自分や友人に関係のあることだ」「この話は他のみんなにも伝えなければ」など、共感してもらうことが大切です。そうしたことを踏まえて発信する情報の内容（文章のストーリー性や写真・動画の構図など）を工夫しましょう。



ユーザーからのリアクションに応える方法も把握しておく

発信した情報を見た人の中には、シェアをしてくれたり、応援のコメントをしてくれたり、メールで連絡をくれる人も出てくるかもしれません。それらに対応する方法（コメントやメールが入った時の通知先や返信体制など）を事前に準備し適切に対応することで、ファンを増やすことができます。チャンスを逃さないよう、きちんと準備しておきましょう。



社会的・常識的に問題がないかに気をつける

発信した情報の中には、意図せず社会的に問題のある内容を含んでしまっていたり、他者のプライバシーを侵害してしまうような写真や動画を投稿してしまうことがあるかもしれません。不測の事態に備えて、発信した情報に問題がある時の対処法（投稿内容の削除やクレームへの対処に関する流れ）なども関係者間で確認しておきましょう。



訂正の仕方を確認しておく

一度投稿した内容を訂正したい場合は、各ツールごとに用意されている修正方法に従って文章の訂正や画像の削除・差し替えなどを行きましょう。

また Twitter は一度投稿した内容は後から訂正できないため、訂正したい投稿を削除してから改めて投稿し直す必要があります。

